

令和4年度 高島市立学校 学校教育到達目標

マキノ東小学校		1
マキノ西小学校		2
マキノ南小学校		3
マキノ中学校		4
今津東小学校		5
今津北小学校		6
今津中学校		7
朽木東小学校		8
朽木西小学校		9
朽木中学校		10
安曇小学校		11
青柳小学校		12
本庄小学校		13
安曇川中学校		14
高島小学校		15
高島中学校		16
新旭南小学校		17
新旭北小学校		18
湖西中学校		19

令和4年度 学校教育到達目標 高島市立マキノ東小学校

〈児童生徒の実態〉

- ・指示されたことには真面目に取り組める児童が多い。
- ・論理的に書いたり表現したりする力に差が大きい。
- ・見通しをもち筋道を立てて考えることが 苦手な児童が多い。
- ・活力は感じられるが、言動の幼さが感じられる児童が目立つ。

〈めざす子ども像〉

- 自ら考え表現する人
- 人を大切にする人
- 挑戦する人

〈めざす学校像〉

- 学ぶ喜びがあり充実できる学校
- 明るさに満ちた安心できる学校
- 家庭や地域とともに歩む学校

〈本校の教育課題〉

- ・学びの基礎基本の徹底と思考力、判断力、表現力の育成
- ・自ら考え行動する態度の育成
- ・自己有用感の醸成
- ・ふるさとを愛する心の醸成
- ・日常的な健康づくり習慣の確立
- ・家庭、地域の学校づくりへの参画

〈学校教育目標〉

ふるさとを愛し
心身ともに健康で
自ら学び挑戦する人の育成

〈地域の実態等〉

- ・恵まれた自然環境
- ・歴史ある街並み、高い文化
- ・学校教育への高い関心と期待
- ・少子高齢化
- ・新興住宅地の増加と旧市街の人口減少
- ・学校に対する協力的な姿勢

〈中期的目標〉

- 自分で考え、それを表現する力の伸長
- 町内他校園と連携した道徳を核とした授業改善の推進
- 家庭、地域とともに学校づくりを進めるパートナーシップの構築
- 自然や地域を素材とした学びの深化
- 主体性を育て、生き方を学ぶ教育の推進
- 「いじめ」「不登校」のない安心、安全な学校づくり
- 教職員の授業力・指導力・課題対応力向上

〈R3学校評価 概要〉

- ・「マ東漢字検定」「予習復習ノート」の実施による学習習慣の確立と学習意欲の向上 A
- ・読書環境の充実と読書活動への意欲の喚起（図書室の整備と蔵書の充実） B
- ・互いの思いを出し合える集団づくりに向けた継続的な実践 B
- ・主体的、対話的な学習に向けた道徳科を中心とした授業改善 B
- ・意見交流や情報収集・共有のためのツールとしての日常的なタブレット利用 A
- ・あいさつの習慣形成、いじめ撲滅に向けた児童の主体的な取組の展開 A
- ・地域とともに進める自然教室の実施と各学年における地域学習の充実 A
- ・適正なスクリーンとの接触についての理解促進 B
- ・学校運営協議会や地域学校協働活動等のリンクの強化 B

【本年度の指導力点】

○学びの基礎基本の徹底

- ・学習規律の徹底
- ・読書環境の充実と読書の奨励
- ・マ東検定や予復ノートの実施による学習習慣の定着
- ・相手の話を聴き反応できる態度の育成

○子どもをつなぐ学びの創造

- ・道徳教育の要としての道徳の時間の更なる充実
- ・生徒指導の3機能を具現化した学習活動の展開

○豊かな人間関係と社会性を育む教育の推進

- ・相手の立場を考え行動する集団づくり
- ・仲間の良さを認めるための児童の主体的な取組
- ・異年齢交流の活性化と自己肯定感の醸成

○地域のよさを生かした教育の充実

- ・校区全域を生かした学習活動の実施
- ・自然教室への取組による、達成感や感動の感受及び琵琶湖環境保全への意識高揚
- ・故郷を愛する心の醸成
- ・園小中一貫教育の推進

○健康の保持増進と体力の向上

- ・体力づくりへの意欲の向上と目標をめざして頑張りぬく児童の育成
- ・自分の健康について考え、管理できる力の向上

【到達目標・数値目標】

- ・『マ東漢字検定』『予習復習ノート』の実施による学習習慣の確立と学習意欲の向上
- ・家庭学習は、「読書、宿題、予習・復習」を合わせて、1年20分、2年30分、3年45分、4～6年60分以上【目標90%以上】
- ・読書貯金の実施、家読（週末読書）の取組【Q「読書貯金の目標達成に向けて頑張っている」目標90%以上】

- ・互いの思いを出し合える集団づくりに向けた継続的な実践【Q「授業中進んで発表したり話し合いに参加したりしている」目標90%以上】
- ・主体的、対話的な学習に向けた道徳科を中心とした授業改善【Q「授業中友達と話し合う活動がよくある」目標95%以上】【Q「道徳の学習が好き」目標90%以上】
- ・タブレットの日常的活用

- ・全校児童による異年齢集団（縦割り活動）活動の充実
- ・児童が主体となったいじめ撲滅に向けた取組の継続
- ・いじめ点検や情報交換会によるいじめや不適応の早期発見、未然防止〔週1〕
- ・課題のある児童への組織的対応の充実と保護者への効果的な発信、連携
- ・【Q「いじめはどんな理由があってもいけない」目標100%】

- ・地域とともに進める自然教室の実施
- ・町内合同マラソン、合同陸上練習等町内合同開催事業の実施
- ・地域人材によるキャリア形成につながる学習
- ・各学年における地域学習の実施と地域連携カリキュラムの完成
- ・活動を支えて下さる人々への感謝の思いの伝達と交流
- ・【Q「マキノが好き」目標100%】

- ・年間を通したマラソン、なわとびの取組による継続的に運動に取り組む態度の育成
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- ・家庭でのゲームやネット利用の自己管理能力育成【Q「ゲームやインターネットをする時間は合わせて1時間以内目標70%以上】

令和4年度 学校教育到達目標

高島市立マキノ西小学校

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】

〈児童生徒の実態〉

- 勤労意欲が高い
- 素直で元気がよい
- 男女・異学年とも良好な関係が保てる
- よく遊びよく学ぼうとする
- 少人数のため人間関係の固定化傾向
- 家庭学習の習慣化が不十分
- 自己肯定感が不十分
- 課題解決力に課題

〈めざす子ども像〉

- 明るく ◇あいさつ返事が大きな声のできる子
- ◇自分も他人も大切にできる子
- 元気に ◇心も体も元気でたくましい子
- ◇大きな声で発表ができる子
- 励む子 ◇夢や目標をもち、自ら考えて行動する子
- ◇話を理解して聞くことができる子

〈めざす学校像〉

『地域とともにある学校』
～つながり響き合う教育を実践し、
地域の核となれる学校～

〈本校の教育課題〉

- 小規模校の強みの生かし方
- 着実な学力向上・体力向上
- 言語活動の充実コミュニケーション力アップ
- 個別支援指導 障がい者理解教育
- 集団づくりの工夫 人間関係力向上
- 地域に学び、地域で活躍する
- 地域人材とのさらなる連携

〈学校教育目標〉

最高教育理念

自ら鍛え自ら学ぶたくましさ
人や自然と共生する
やさしさをもった人の育成

校訓

明るく 元気に 励む子

〈中期的目標〉

- 子どもの姿で勝負するプロ（教職員）
 - ・保護者・地域の期待に応える
 - ・小規模のよさを生かし、課題を克服する経営
- 自らの成長を感じ自信が持てる（児童）
 - ・魅力ある楽しい教育活動、体験活動
 - ・集団力、自己肯定感の向上
- 学校・地域と課題と目標を共有する（地域）
 - ・地域の核となる学校づくり
 - ・地域人材とのさらなる連携

〈地域の実態等〉

- 少子高齢、過疎化
- 自然・人材が豊かである
- 農林業・観光地・工業団地
- 温情厚く、家庭的雰囲気の
人々が住む地域である
- 学校・教育への関心高く
期待感あり、協力的である

〈令和3年度 学校評価 概要〉

- ・コロナ禍のため、思うような活動ができなかったが、マ西の子どものらしい真面目さや素直さを伸ばせし、地域の特性を踏まえた活動はできている。
- ・修学旅行の際に子どもたちが自ら考え、マキノの良さを再認識できるような活動を企画できたことは、とても良かった。このような取組を通して、これまで関わりのなかった地域の方にも草刈りなどに出いただく機会にもつながり、今後の学校とのつながりもできたので良かったと思う。
- ・今年度初の試みの「子ども民生委員」の取組は、校外での活動であり、課題も多くあったと思うが、学校、保護者の理解や先生方の協力も得られ、実施できたことは大きく評価されることと思う。今後もよい形で継続されるように思う。今後も小規模の良さを生かし、どの活動においても、基本的自尊感情が育つように、指導目標に取り組んでいただきたい。
- ・地域の人たちが西小学校の職員、児童を見つめる気持ちは、とても温かいものがある。学校もそれに応えており、とてもよくまとまっている。教育目標は達成できている。このまま、さらに上を目指して頑張っていただきたい。

明るい子

- ★仲間づくり・集団づくり
- ・道徳の実践力・学習規律確立
- ・絆を深め認め合う集団づくり
- ・特別活動と縦割活動の工夫
- ★共生する力・生き方学習推進
- ・マ西地域学習の継承
- ・地域資源・自然体験活動の充実
- ・地域人材の教育活動へのさらなる参画
- ・『夢カード』活用
- ・園小中一貫教育の推進
- ★特別支援教育・福祉教育推進
- ・個別支援計画による指導相談
- ・保護者・専門の関係機関連携
- ・障がい児(者)理解教育推進

元気な子

- ★体力向上・運動習慣確立
- ・「健やかタイム」の工夫、充実
- ★生活習慣確立・食育推進
- ・『早寝・早起き・朝ごはん』
- ・外遊び30分以上
- ・TVゲーム等2時間以内啓発・ノースクリーンデーの実施
- ・歯磨指導、歯科受診率の向上
- ★いじめ・不登校ゼロの取組
- ・報告、連絡、相談、確認、記録の徹底
- ・道徳教育の充実
- ・安心できる居場所・集団づくり
- ・教育相談週間・アンケート活用

励む子

- ★魅力・喜びのある授業の実施
- ・「わかる」「できる」授業づくり
- ICT活用授業 ○図書室活用授業
- 読解力の向上 ○課題解決的な学習の充実
- 外国語活動・外国語科の充実
- ★主体的・対話的で深い学びへの授業改善、充実
- ・「マ西漢字チャレンジ」「詩歌チャレンジ」「俳句チャレンジ」の取組
- ・言語活動の充実
- ・個別学習支援の工夫 ・朝学習・朝読書の徹底
- ・家庭学習[10分×学年]以上
- ・読書の質の向上、家読の推進
- ・マキノ中学校区における道徳科の研究

地域とともにある学校

- ・学校運営協議会の充実
- ・地域学校協働活動の推進
- ・学校からの情報発信の充実

小中一貫教育の推進

- ・中学校区全員研修会への参加
- ・道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業による研究推進
- ・道徳教育と各教科、体験活動との関連

- ・大きく明るい声で挨拶をする子 100%
- ・大きな声で返事をする子 100%
- ・地域に学ぶ体験学習実施 100%
- ・夢志をもつ子(夢カード活用) 100%
- ・はきものそろえを意識する子 100%

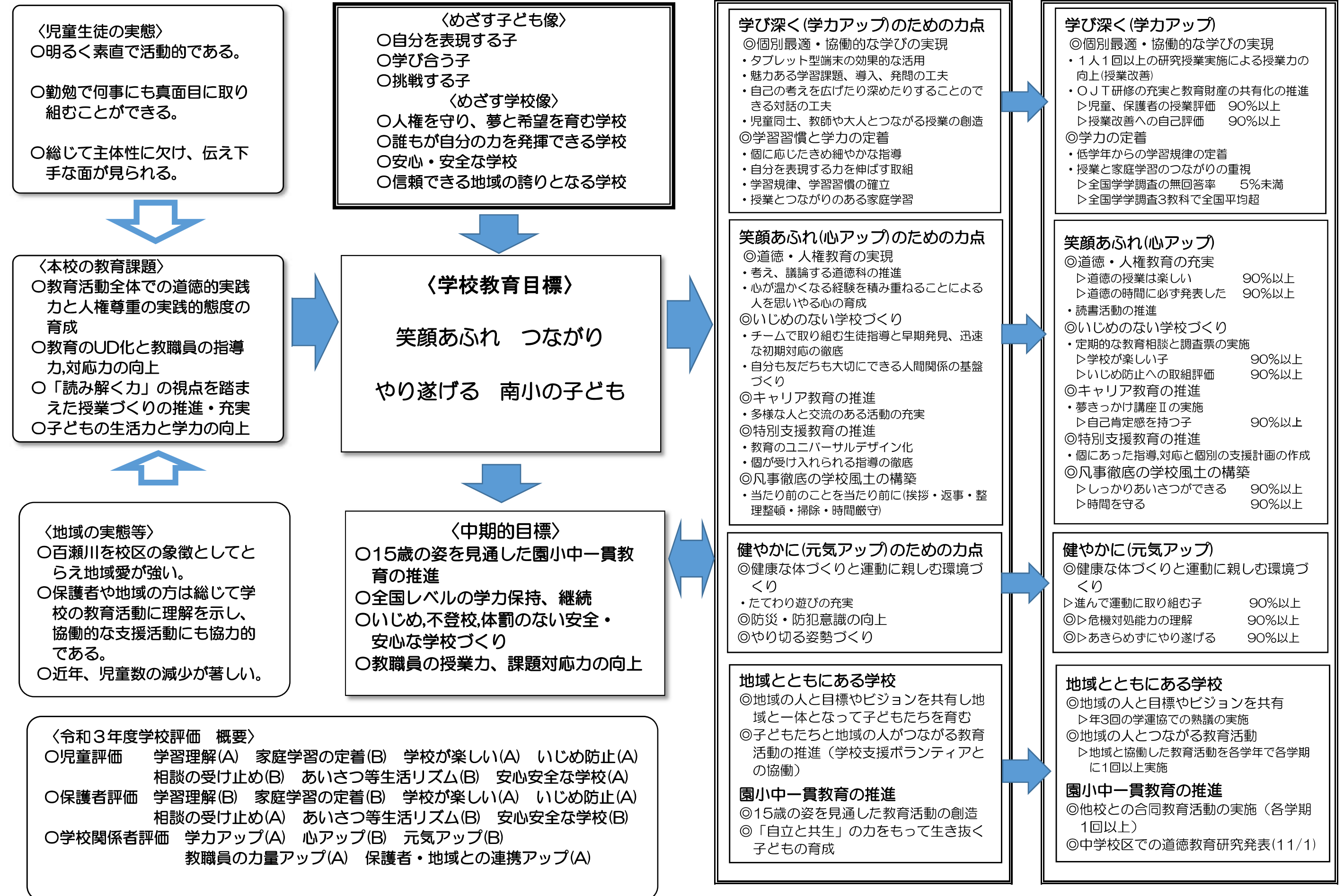
- ・全学年で地域素材や人材による学習に取り組む
- ・全学年で『夢カード』の活用
- ・全学年で福祉学習の取組
- ・年に2回教育支援委員会との連携
- ・障がい者理解教育を各学年で1回開催
- ・校内特別支援教育推進委員会を学期に1回開催

- ・外遊び1日30分以上する子 100%
- ・10分間運動に進んで取り組む子 100%
- ・早寝する子 低学年9時 100%
- 中学年9時半 100%
- 高学年10時 100%
- ・ゲームテレビ等2時間以内 100%
- ・朝ごはんを毎日食べる子 100%
- ・歯科受診率 100%
- ・望ましい生活習慣定着に向けた家庭への啓発
- ・毎週定期的に児童の情報交換の機会を持つ
- ・年3回以上のアンケートを実施
- ・学期に1回、教育相談週間の実施

- ・学習が楽しいと思える子 100%
- ・マ西漢字に取り組む子 100%
- ・詩歌チャレンジに取り組む子 100%
- ・俳句チャレンジに取り組む子(3年生以上) 100%

- ・家庭学習毎日10分×学年以上
- ・家庭学習頑張ろう週間の設定(年間5回)
- ・読書量 1～3年 100冊 4～6年 80冊
- ・「家読」月1回実施(年間10回)
- ・個人用タブレットを活用した授業実践
- ・全学年1回以上の道徳科の研究授業
- ・「マキノ中学校区版学習スタイル」の定着
- ・マキノ図書館との連携

- ・年間5回の学校運営協議会の開催(担任等との懇談機会の設定)
- ・学校だより(毎月)、学年だよりの発行
- ・ホームページの更新
- ・メール配信による即時の情報発信
- ・中学校区学年部会別授業研究会、全体研究会への参加
- ・「夢カード」の活用



令和4年度 学校教育到達目標

高島市立マキノ中学校

<生徒の実態>

- ・誰にもあいさつができる。
- ・学習、部活動、学校行事など意欲的に学校生活をまじめに頑張る。
- ・受け身的であり、自ら行動を起こす意識が低い。
- ・学力差が見られる。

<本校の教育課題>

- 主体的・自主的に活動する生徒の育成
- 新学習指導要領への対応に向けた授業改革
 - ・主体的対話的探究的な学び
 - ・ICTの活用
- 地域とともにある学校づくりの活性化

<地域の実態等>

- ・少子高齢化が進む地域
- ・三世帯同居家庭は多いが、さまざまな支援が必要である。
- ・PTA活動や学校行事への参加率は高く、協力的である。
- ・地域の方は依頼すれば協力的である。

<令和3年度学校評価の概要>

- ・授業がわかる 98% ・家庭学習1時間 64% ・読書月2冊以上 34%
 - ・10kmロードレースの充実 92% ・部活動の充実 89% ・いじめ点検月2回実施
- (関係者評価) 地域学校協働本部が中学校に設置され、地域と学校が繋がる第一歩となった。来年度は具体的な協働活動が進み、活性化させていきたい。学校運営協議会が教職員やPTAと話す機会を設け、生徒の現状や保護者の希望を話し合えるとよい。

<めざす生徒像>

- 世の中の事象に柔軟に対応し、思いやりの心を大事にし、自ら考え、判断し、行動する生徒
- 自他のよさを認め、互いを大切にできる生徒
- 夢や目標の達成のため日々努力し、自分の生活をコントロールできる生徒
- 学校の課題に気付き、解決するために、自ら考え行動する生徒
- 地域に自ら役立とうと行動する生徒

<めざす学校像>

- 「チームマキノ」を合言葉に地域とともにある学校
- 挑戦し、変化を創り出す学校
- 自ら考え判断し行動できる力を育てる学校
- マキノを愛し、地域とともに教育活動を推進する学校

<学校教育目標等>

品位・気魄・和合

校訓

「自ら考え、判断し、行動する」

キャッチフレーズ

「挑戦と創造」

<中期的目標>

- 主体的に学びに向かう態度の育成
- 何事も自主的に行動する態度の育成
- 自分の事として捉える道德教育の推進
- 新教育課程に向けた研鑽を積む教職員
- 全教職員で全生徒を育てる組織

<本年度の指導力点>

- 学力の向上
 - ・主体的な学びの確立
 - ・学び合う学習の充実
 - ・言語活動の充実
 - ・基礎基本の徹底
 - ・ICT機器を活用した授業実践
- 豊かな心づくり
 - ・道德教育の充実
 - ・全校縦割り活動の充実(集団づくり)
 - ・生徒会主体の学校行事の活性化
 - ・読書の推進
 - ・生徒指導教育相談の充実
 - ・地域貢献活動の充実
- 健康な心身の育成
 - ・健康な生活リズムの確立
 - ・自己管理の定着
 - ・食育の推進
 - ・部活動の充実
- 保護者・地域とともにある学校の創造
 - ・総合的な学習の時間を活用した地域との連携
 - ・積極的な情報発信
- 小中一貫教育の推進
 - ・キャリア教育の充実
 - ・小中合同道德授業研究の充実

<本年度の到達目標：数値目標等>

- 生徒85%以上が「授業がよくわかる」と回答
- 生徒85%以上が「やる気をもって授業に取り組んだ」と回答。
- 生徒85%以上が「自分の考えを授業で伝えた」と回答。
- 補充学習の実施
- 生徒85%以上が、「タブレット端末や資料を使ってする授業は楽しい」と回答
- 生徒80%以上が「道德はためになる」と回答(自分の事と捉える道德授業)
- 生徒会活動や縦割り活動を通した生徒主体の学校行事
- 「いじめ点検」を月2回実施
- 朝読書の充実、月2冊以上の読書
- 地域貢献活動 生徒年間2回以上
- 生徒85%以上「学校に来るのが楽しい」と感じる
- 夜11時までに寝る生徒が80%
- 給食の完食 90%
- 生徒90%以上が部活動が充実していると感じる
- 地域とのつながるふるさと学習実施
- 「メール配信」の充実
- 年間2回の保護者・生徒アンケートの実施と学校評価結果の公表
- 安全・危機対応職員研修の実施
- 保護者対象「いじめ点検」月1回
- 学校運営協議会を通して、地域学校協働活動の実施
- 「夢カード」による9年間を見通したキャリア教育
- 道德の合同授業研究会の実施

令和4年度 学校教育到達目標

高島市立今津東小学校

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】

〈児童の実態〉

- 素直で、人なつこい。
- 多様な個性、あふれる好奇心。
- 読み取る力や伝える力が弱い。
自信、意欲、根気、達成に課題がある。
- 学習意欲に個人差が大きい。
- 個別支援を要する児童が多い。

〈めざす子ども像〉

- かんがえ(知) 学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう子の育成
- おもいやり(徳) 自他を愛する豊かな心の育成
- たくましい子(体) 体力や気力、生きる力の育成
- 地域に学び、地域を愛する心の育成(郷土愛)

〈めざす学校像〉

- 地域とともににある学校
- 安全・安心が守られた信頼される学校

〈本校の教育課題〉

- 基礎学力の定着、思考力・表現力に課題
- 人間関係の構築に支援を要する児童が多い。
- 通常学級において特別支援を必要とする児童が多く、きめ細かな支援が行き届きにくい。
- 新型コロナウイルス感染症への対応

〈学校教育目標〉

- 心身共に健全で
創造性豊かな子の育成
- ・思いやりのある子
 - ・ふかく考える子
 - ・強くたくましい子

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然、歴史文化伝統に恵まれた環境を有する。
- ・過疎化の進む地域と新興住宅地があり、個性豊かで価値観も多様である。
- ・少子化の進行に伴う児童数の減少に歯止めがかからない。
- ・家庭や地域の教育力は一定保たれつつも、協力が得にくい家庭もある。

〈中期的目標〉

- 言語能力の向上を図り、正しい用語による論理的な表現力の育成を図る。
- 成就感や達成感を高める行事の工夫と連帯感や充実感を深める学級づくり
- すこやかタイムの定着と保健安全指導の工夫

〈R3学校評価 概要〉

- ・(児) 学校が楽しい81%、勉強がわかりできる89%、授業中、自分の考えをよく発表56%。
- ・(教) よくわかる授業95%、ICTを活用した授業95%、問題行動の早期発見90%。
- ・(P) 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている90%、先生は子どもをよくほめている81%。
- ・(学運協) 全体的に、コロナ禍のため教師と児童、学校と保護者や地域の意思疎通が希薄になっている。メール配信などで、もっとオープンに学校の様子を知らせていくべきだろう。また、「地域とともにある」とはどういうことか。学校が支援をもらうことにとどまらず、地域と一緒に活動できることが大事である。委員も、地域の声を吸い上げてくるようなしくみになるとよい。

学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう子の育成のための力点

- ◎学びの意味や多様な学び方の獲得と学習意欲の向上
- ◎ICT教育、個別最適化された学び・協働的な学びの推進
- ◎「読み解く力」の育成と授業改善

自他を愛する豊かな心を育成するための力点

- ◎いのち・人権
 - ・生活の合言葉／あ・し・たの3つ
「あいさつ、しんせつ、たいせつ」
 - ・毎月10日は「校内人権の日」
- ◎いじめゼロの実践
 - ・いじめ撲滅に児童会が主体となって取り組む
 - ・PTAや地域の団体等と連携し、地域ぐるみで思いやりの心を育む

体力や気力、自立する力を培うための力点

- ◎規則正しい生活習慣の定着
- ◎体育的行事のほか、外遊びを励行し、健康でたくましい身体を育成
- ◎体験学習や異年齢集団での学習機会等により、生きる力(生活力・自立する力)を育成

地域とともにある学校

- ◎信頼される学校・期待に応える学校
- ◎学校運営協議会と一体となった学校運営
- ◎地域学校協働活動のさらなる充実

小中一貫教育の推進

- ◎小中一貫教育標準カリキュラムの活用
- ◎児童生徒の交流の促進

かんがえ(知)

- ◎児童の自己評価「勉強がわかり、できる」85%、「授業中、自分の考えをよく発表している」70%。
- ◎「ICTを活用した授業に取り組んでいる」教員の割合95%以上(前年度95%)。
- ◎「読み解く力」を意識した授業づくりに努め、グループ学習を効果的に実施。

おもいやり(徳)

- ◎いのち・人権
 - ①「学校に来るのが楽しい」の自己評価80%以上(前年度81%)。
 - ②校内人権の日に、教員が交代で人権啓発のメッセージを伝える。
- ◎いじめゼロ
 - 「学校は、いじめ問題に誠実に取り組んでいる」の保護者評価80%以上(前年度54%)。

たくましい子(体)

- ◎「すこやかタイムをはじめ、学校教育活動全般で体力づくりを図る」の自己評価80%以上。
- ◎「異なる学年の友だちとも仲良く活動できる」児童の割合80%以上(コロナ禍のため前年度の指標なし)。

◎学校運営協議会

- ・熟議を経た意見をもとに、全委員が執行者として学校運営に何らかのかかわりを持てるようにする。

◎小中一貫教育

- ・小中一貫教育標準カリキュラムを活かした授業づくりに努める。
- 学校・地域連携カリキュラムづくりをすすめる。

〈児童生徒の実態〉

- ・明るく元気で、外遊びを好む。
- ・素直で人なつっこく、与えられた課題にはまじめに取り組む。
- ・困難なことに立ち向かおうとする気概にやや欠ける。

〈めざす子ども像〉

- ・基礎基本となる力を持ち、理解力・活用力をのばす子ども
- ・自他を愛する豊かな心を有する子ども
- ・健康でたくましい身体を有する子ども
- ・地域を知り、地域を愛する子ども

〈めざす学校像〉

- ・自ら学び、考え、行動する力を持った子どもを育てる学校
- ・児童の学力向上に努める学校
- ・人権意識を高め、豊かな人間性を育む学校
- ・たくましく生きるための健康な心身を育む学校
- ・地域に開かれ、地域の願いに応える学校

〈本校の教育課題〉

- ・児童が主体的な学びに向かうことができるよう、基礎基本の習得にむけた授業づくり
- ・豊かな心と人権意識を高めるための道徳の授業の工夫や学習機会の設定
- ・家庭学習の充実を図るための保護者との協力連携

〈学校教育目標〉

すすんで やさしく たくましく

人を思いやる豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、ふるさとを愛する心身ともにたくましい子どもの育成

〈中期的目標〉

- ・学力の基礎基本の定着を図り、自分の考えたことを表現につなげる。
- ・行事を通して成就感や自己存在感を深める学級づくり
- ・日頃から健康と体力を高めようとする意欲を育てる保健・安全指導の展開
- ・地域の特色を知り、ふるさとを愛する心情の育成

〈地域の実態等〉

- ・旧川上村を中心とした学区であり、農業により生活を支えてきた地域である。三世帯同居の家庭も多く、これまでの伝統を大切にして、地域で学校を支えていこうという風土がある。

〈R3 学校評価 概要〉

- ・先生方が毎日楽しいと思い、笑顔で子どもたちと向き合える学校づくりに取り組んでもらいたい。評価はそのためにあり、先生の思いつきや工夫、変化などに対して後押しができるような関係を作りたい。若い先生方の思いつきも知りたいし、何か後押しができる声かけができるかもしれない。
- ・コロナ禍で様々な制限があり、予測不可能な中、工夫した取組や重要な行事を実施していただき、子どもたちやその家族にとっても充実した1年が過ごせた。社会の変化に伴い今後も課題は尽きないと思うが着実にできるところから一つひとつ取り組んでいる当校は目標を十分に達成できている。今後は柔軟に対応できる体制づくりと小さな学校だからこそその特色を逆手に活かしてほしい。
- ・元気のよいあいさつや正しい言葉遣いは、まず大人が見本を見せるつもりで継続して取り組んでいく。いじめについては普段から多くの目で子どもたちの姿を観察して、おかしいなと感じたらすぐ指導できる体制を作る。日頃から気づいたことを共有し、タイムリーに指導して、子どもたちの人権意識を高めていくことが大切である。

学びあう子の育成のための力点

- ◎考えたことを話し合い、言葉を工夫して表現する学習活動の工夫
- ◎主体的な学びにつながる、わかる授業の実践
- ◎ICTの活用
 - ・興味関心を抱かせ、思考につなぐ資料や考え方の提示
 - ・情報機器を使った学習の工夫とまとめ発表機会の工夫

豊かな心を育むための力点

- ◎いのち・人権を大切に
 - ・「いのち」の大切さを全教科・領域を通じた指導
 - ・学級や縦割り活動における、好ましい人間関係づくり
- ◎いじめをなくそう
 - ・日常生活の中で、「楽しい学校」について考えさせる。
 - ・人権集会を契機として自分たちからいじめをしない環境づくり

健やかなからだづくりのための力点

- ◎体を動かすこと・外遊びの奨励と環境整備
- ◎体力づくりの推進
 - 自らの健康に関心を持ち、健康な毎日を送るための保健指導を推進

地域とともにある学校

- ◎地域の教材の効果的活用と、地域人材からの学ぶ場を創出する。
- 小中一貫教育の推進
 - ◎発達段階に応じた学習規範の統一
 - ◎小中教員による授業づくり
 - ◎キャリア教育の推進

学びあう子の育成

- ・「授業が分かる」と回答する児童
・・・85%以上
- ・家庭学習時間の定着化
20分（1，2年）10分×学年（3年以上）
- ・話し合いを取り入れた学習活動
主体的・対話的で、深い学びの実現
各教科で単元のまとめ等で随時実施
- ◎ICTを使った学習活動
 - ・タブレットの効果的な使い方について各教科の学習活動を通じて進める。

思いやりの心・豊かな心を育む

- ◎いのち・人権・思いやり
 - ①やさしい言葉をかけられた経験
85%以上
- ◎いじめのない学校づくり
 - ①学校が楽しいと回答できる児童
90%以上
 - ②場にあったあいさつがしっかりとできる。
85%以上

健やかな体

- ◎児童の体力向上への意欲を高める授業づくりや運動環境の工夫
 - ①外遊びをする子
85%以上
 - ②運動が好きと答える児童
95%以上
- ・昼休みを利用した児童会企画（なわとび大会やドッジボール大会）で体力増進の機会を設定

学校運営協議会

- ・学校と地域がつながる機会や方法について協議し、地域に開かれた学校づくりに努める。
- 小中合同による授業づくり
 - ・共同授業研究を機会として、学区内の児童生徒の学力状況や学習課題にせまる。
 - ・将来を見据えたキャリアパスポートの有効活用

令和4年度 学校教育到達目標

高島市立今津中学校

＜生徒の実態＞

- ・ まじめで素直な生徒が多い。
- ・ 生徒同士の仲がよく、協力して物事に取り組める。
- ・ 学校行事や学友会活動などに主体性に取り組める。
- ・ 基本的な生活習慣や学習習慣が十分定着していない。
- ・ 人間関係づくりが苦手な生徒が増えている。
- ・ 自己肯定感や自尊感情に乏しい。
- ・ 個別に支援を要する生徒が増えている。

＜めざす子ども像＞

- ・ あいさつや掃除がしっかりでき豊かな心と社会性を身につけた生徒
- ・ 確かな学力を身につけた生徒
- ・ 明るく元気で思いやりがあり、切磋琢磨しながら誰とでもうまく関わる生徒
- ・ 自分の考えを持ち、仲間のことを考えて行動できる生徒
- ・ 夢や希望、望ましい生き方を見つけ、目標に向かって粘り強く努力できる生徒

＜めざす学校像＞

- ・ 保護者や地域から信頼される学校
- ・ 明るく前向きに活動し、活力がある学校
- ・ 互いを認め、高め合い、温かさが感じられる学校

＜本校の教育課題＞

- ・ 確かな学力の定着
- ・ 豊かな心と感性の育成
- ・ 健やかな心身の育成
- ・ 特別な支援を要する生徒への対応
- ・ 不登校を減らす重点的な取組
- ・ 社会的自立の育成
- ・ 保護者と教師の信頼関係づくり

《校訓》

真理の探究・正義の実践・平和の愛好

《教育目標》

ふるさとに愛着をもち
豊かな心と社会性を育み
夢の実現を図る生徒の育成

＜中期的（3年間）目標＞

- ・ 積極的に学ぶ姿勢をもった生徒を育成する。
- ・ 感動や成就感が得られ、豊かな心を育む体験活動を実施する。
- ・ 学友会活動により自主、自治能力の育成を図る。
- ・ 自ら学び、考え、正しい判断をし、規律正しく自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。
- ・ 地域や保護者に信頼され、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ・ わかりやすい授業を展開できるよう、教師の授業力を向上させる。
- ・ 生徒に寄り添い、率先垂範する教師集団を確立する。

＜地域の実態等＞

- ・ 教育に関心があり、学校に対する期待は大きい。
- ・ 保護者へ学校の情報や考えが伝わりにくい。
- ・ 家庭の教育力が弱くなりつつある。
- ・ 地域や生徒のためなら労を惜しまない人が多い。
- ・ 地域の未来を担う中学生を地域で育てようとしている。

＜令和3年度 学校評価の概要＞

- 学力の向上 …C 毎日1時間以上家庭学習している。(生徒53%)
学校の授業はわかりやすい。(生徒87%)
- 豊かな心づくり…A 道徳の授業では自分の生き方についてしっかり考えた。(生徒88%)
学友会活動に積極的に取り組める指導・支援が行われている。(保護者91%)
- 健康な心身の育成…B 学校は楽しい。(生徒88%) 部活動に休まずに参加した。(生徒90%)
- 地域連携…B PTA活動は保護者によく内容が伝わり充実している。(保護者79%)
学校と地域が連携をとり教育を進めている。(保護者81%)

＜本年度の指導力点＞

○学力向上・学習指導

- ・ 主体的・対話的で深い学びの授業実践
- ・ 朝読書の徹底
- ・ 読み解く力の育成
- ・ 話し合い活動の充実
- ・ 基礎学力の定着
- ・ 自己表現力の育成
- ・ ICT機器の有効活用
- ・ 学習規範の徹底
- ・ 家庭学習の充実
- ・ 小中一貫教育標準カリキュラムの活用

○豊かな心づくり

- ・ 道徳教育の充実
- ・ キャリア教育の充実
- ・ 体験活動の実施
- ・ 集団を質を高める行事の実施
- ・ 生徒指導の充実
- ・ いじめを許さない学校づくり
- ・ ボランティア活動の充実
- ・ 学友会活動の活性化
- ・ 教育相談の充実
- ・ 特別支援教育の推進

○健康な心身の育成

- ・ 基本的な生活習慣の徹底
- ・ 体験活動の充実
- ・ 部活動の充実
- ・ 自主トレの実践
- ・ 社会性の育成
- ・ 人や地域へ感謝する心の育成

○地域連携

- ・ 生徒の地域活動への参画
- ・ 人・地域から学ぶ教育の推進
- ・ 学校行事の工夫と実践
- ・ 地域とともにある学校づくり
- ・ 家庭、地域への広報活動
- ・ 関係機関との連携

＜本年度の到達目標：数値目標等＞

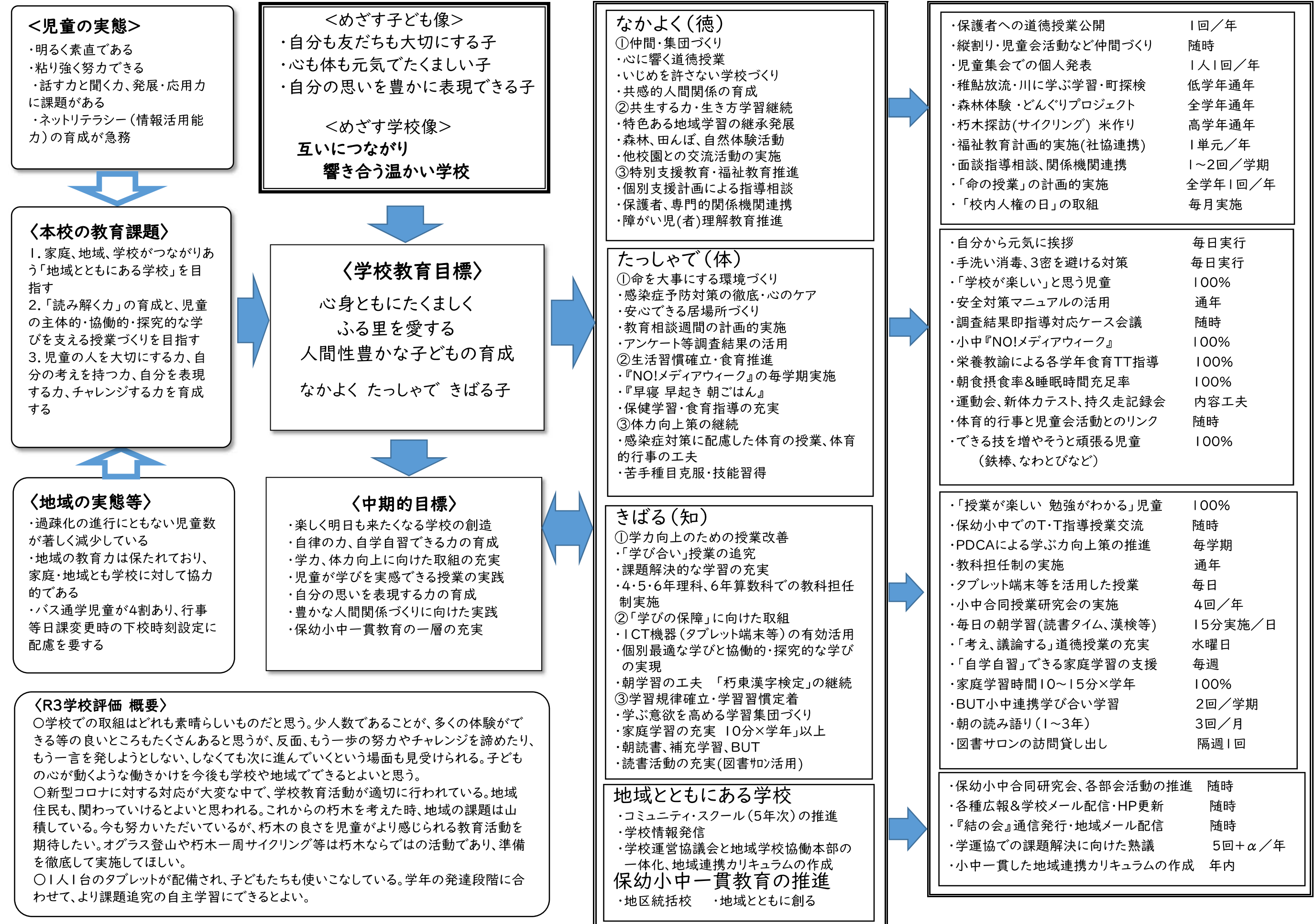
- ・ 朝読書を徹底する生徒 90%以上
- ・ 授業中自ら学び、話し合い活動ができる生徒 90%以上
- ・ 各教科で「読み解く力」の向上に取り組む
- ・ 学習のルールをもとに学習規範を徹底する
- ・ 家庭学習を毎日1時間以上できる生徒 70%以上
- ・ 授業がよくわかると答える生徒 80%以上
- ・ ICT機器を活用した授業実践に取り組む
- ・ 学習支援、補充学習を工夫する

- ・ 道徳の授業で自分のことや生き方について考えたと答える生徒 80%以上
- ・ キャリアパスポートの活用と各学年講師を招聘した生き方に関する講演会を実施
- ・ 生徒の感性を磨く体験活動の実施
- ・ 職場体験を充実させる(生徒95%以上)
- ・ ヤングボランティア活動への参加
- ・ 全校(生徒)集会を毎月1回実施
- ・ 学友会によるいじめ撲滅運動の推進
- ・ 各学期に生徒全員の教育相談を行う
- ・ 特別な支援を要する生徒に係る情報交換(月1回)

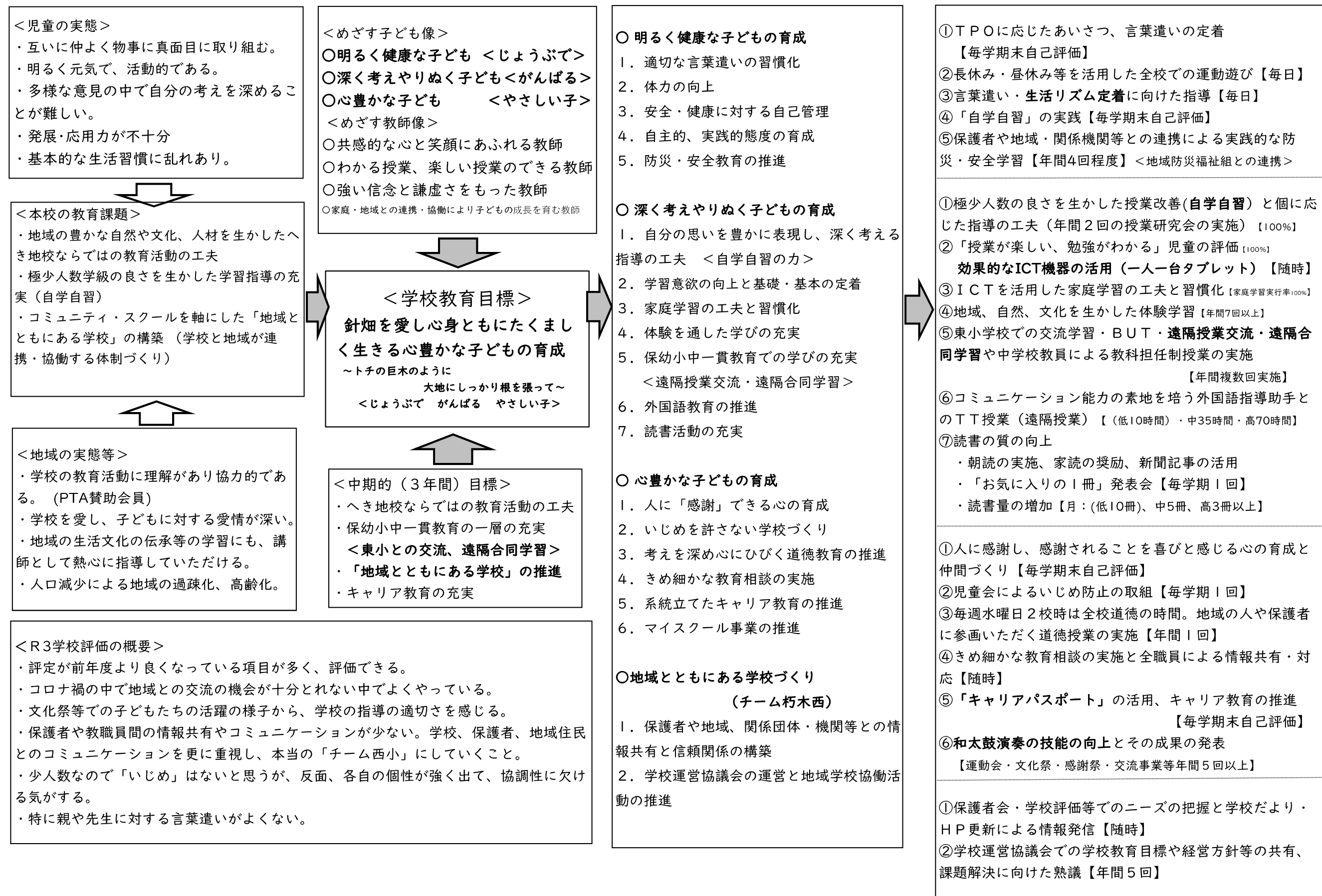
- ・ 学友会活動が充実した生徒 80%以上
- ・ 「学校が楽しい」と感じる生徒 90%以上
- ・ 学友会執行部を中心とした挨拶運動の推進
- ・ 10分間の掃除ができた生徒 90%以上
- ・ 体育祭の参加 95%以上
- ・ 部活動に休まず参加した生徒 90%以上

- ・ 地域の活動に1回以上参加 60%以上
- ・ サポーター会や各種地域団体との連携
- ・ 地域とともにある学校(学校運営協議会、地域学校協働本部)の推進
- ・ 中学校区の地域学校協働本部との連携
- ・ 授業での外部指導者の活用 年間1回
- ・ 配信メールによる重要な連絡内容の提供
- ・ 学校だよりによる情報発信 毎月1回
- ・ 保護者の学校に対する満足度 80%以上

生徒の目標・保護者や地域に対しての約束



令和4年度 学校教育到達目標 高島市立朽木西小学校



令和4年度 学校教育到達目標 高島市立朽木中学校

【本年度の指導力点】

【到達目標・具体的方策】

〈児童生徒の実態〉

- 何事にもまじめに取り組む生徒が多い
- 勤労意欲が高い
- 公共心が高く、全体のために活動できる生徒が多い
- △固定化された人間関係の中で本音を出すことを遠慮する

〈めざす子ども像〉

「自他を尊重しながら主体的に考え行動し、心豊かで、たくましく生きる生徒」

〈めざす学校像〉

「生徒の思いや夢が叶えられ、豊かな人間力、社会性が培える学舎（まなびや）」

〈学校教育目標〉

- 杉の木とともに 大地に根を張り 幹を太らせ たくましく伸びる
- 朽木の自然と地域の人々とともに、ふる里を愛し、ふる里を語れる
- 豊かな知識や技能、自分を支える体力、粘り強い精神力や豊かな人間性を高める
- 夢や目標を持ち、自分で考え自分で判断し、たくましく未来を切り拓く

〈中期的目標〉

- 「読み解く力」の視点を踏まえた授業改善
- 目的意識をもった主体的、計画的な取組
- 小中一貫教育の発展
- 朽木を愛する心を育む体験活動の推進
- キャリア教育の充実
- 学校運営協議会、地域学校協働本部を核とした「地域とともにある学校」の推進

〈本校の教育課題〉

- 将来、大きな集団で自己実現できるように、目的意識をもって主体的・継続的に活動できるようにすること
- 人間関係を柔軟に築き、その時どきの条件に応じた人との関わりを持てるようにすること
- 少人数の中でも切磋琢磨し、互いに向上しようとする

〈地域の実態等〉

- ◇学校への温かい支援
- ◇四季を通して、豊かな自然環境
- ◇少子高齢化、転出による人口の減少
- ◇大人の価値観の多様化による、家庭環境の変化

〈令和3年度学校評価 概要〉

- コロナ禍でも生徒たちの主体性を発揮しての活動や日常活動、地域貢献活動等に生徒の成長の姿が見られ評価したい。今後も主体的に取り組める様々な体験を地域とともに工夫して行ってほしい。
- 学習が分かりやすく学べていることは喜ばしい。家庭学習は、習慣化が大切であり、タブレットを有効に活用してほしい。
- 学校や学級が、多くの生徒にとって居心地の良いところになっているのは素晴らしく、継続して取り組んでほしい。
- 意欲的に取り組める部活動指導に努めてほしい。生徒が保護者とともに健康への意識を高めてほしい。
- 地域との交流を計画的に進めることが「信頼にこたえる学校」につながると思う。保幼小中一貫教育のカリキュラム編成を学校、家庭、地域で考える。

知「学習指導」

- ◎「読み解く力」を核に、生徒が意欲的、主体的に取り組む授業の創造
- ◎ICTの有効活用
- ◎保小中一貫教育を通じた系統性のある学習指導
- ◎家庭学習の習慣化

徳「道徳、生徒指導」

- ◎いじめを許さない生徒指導の推進
- ◎生徒個人に寄り添った教育相談の充実
- ◎豊かな人間性・社会性をはぐくむ体験活動の推進
- ◎道徳の授業と評価の研修

体「体育・保健・部活動」

- ◎生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成
- ◎体力の向上と健康の増進
- ◎望ましい生活習慣の育成

地域とともにある学校

「保小中一貫教育、地域連携」

- ◎学びの連続性を重視した教育の推進
- ◎学校と地域の協働による新しい文化の創造と発信

他「主体性、自主・自律の精神の育成」「生徒会活動」

- ◎主体的な活動による自主・自律の精神の育成
- ◎自己の課題の克服と、自己研鑽への取組
- ◎自主的、創造的な活動と縦割り活動の活性化
- ◎地域貢献活動の推進

- ◎「読み解く力」の育成に重点を置いた授業の実践と公開授業の設定、研修
 - ・授業改善 90%以上
- ◎「学びのツール」としてのICTの活用
 - 80%以上
- ◎家庭学習の習慣化（出題方法の工夫）
 - ・家庭学習60分以上 70%以上

- ◎情報交換会の実施（毎日）
- ◎教育相談時間の充実
 - ・相談しやすい 95%以上
- ◎地域の特性を生かした体験活動の実施
- ◎道徳授業の改善
 - ・考えが深められた 90%以上

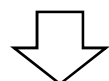
- ◎全校体制による部活動への取組
 - ・部活動に目標をもって充実 90%以上
- ◎個に応じた体力向上の取組
- ◎保護者との協力による規則正しい生活習慣の確立
 - （生活習慣チェック表の活用）
 - ・生徒、保護者評価 70%以上

- ◎小中合同での授業研究会を中心とした一貫教育の推進
- ◎地域住民の学校教育活動への参画と、児童生徒の地域への関わりへの促進
 - （学校・地域連携カリキュラムの作成）
- ◎定期的な情報発信
 - ・学校の様子がよくわかる 90%以上

- ◎目標・目的を明確にした主体的、継続的な取組の支援
 - ・意欲的に取り組めた 90%以上
- ◎清掃活動・学校行事・生徒会企画等における縦割り集団の積極的な活用
 - ・積極的に取り組めた 90%以上
- ◎地域貢献活動等による地域との交流
 - ・積極的に参加できた 80%以上

〈児童の実態〉

- ・素直で明るく、人なつっこい面が多くある。
- ・与えられたことには、真面目に取り組める。
- ・主体的に取り組む力が弱く、最後まで粘り強く取り組む姿勢に課題がある。
- ・人間関係づくりに課題があり、適切なコミュニケーションが図れず、トラブルになる。



〈本校の教育課題〉

- ・各教科における基礎的・基本的学習内容を確実に身につける。
- ・広瀬小学校との統合7年目を迎え、伝統を保持するために、新たな文化を創造する。
- ・ソーシャルスキル、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係を築く。
- ・コミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校のさらなる推進を図る。



〈地域の実態等〉

- ・学校教育活動の推進に、理解と協力がある。
- ・PTA活動や学校行事には、積極的に参加され、協力的である。
- ・学校支援については、必要な時に必要な支援がある。
- ・保護者の価値観の多様化、生活基盤の脆弱化等、子どもに影響している。

〈めざす子ども像〉

- ・心豊かに明るく健康な子
- ・仲良く学び合う子
- ・失敗を恐れず挑戦する子
- ・自主的・主体的に行動する子

〈めざす学校像〉

- ・生きる力を育む学校
- ・学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・安心、安全で居心地のよい学校
- ・地域から信頼される学校



〈学校教育目標〉

「豊かな心と自ら学び考える
意欲をもつ 心身ともに
たくましい安曇っ子の育成」

合言葉

じょうぶで がんばる やさしい子



〈中期的(3年間)目標〉

- ・基礎、基本の確実な習得と、学び合いを活性化し、主体的、対話的で深い学びの創造
- ・読解力等言語力、活用力を高める授業の展開
- ・ICTの活用による、わかる、できる授業の創造
- ・道徳教育の充実で豊かな人間関係を育成し、いじめを絶対に許さない仲間づくりの推進
- ・健康、体力づくりと、豊かな心の育成
- ・小中一貫教育の推進による教育課程や生徒指導面での連携とキャリア教育の一貫した取組
- ・学校運営協議会・地域学校協働活動を核とした地域とともにある学校の推進

〈本年度の指導力点〉

○自ら学び考え、行動する力を育む
教育の創造

- ・魅力ある授業で、基礎的・基本的な学習内容の定着と主体的な学習の推進
- ・1人1台端末を生かした個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・地域学習や福祉学習を核とした生活科、総合的な学習の時間の推進
- ・読み解く力を育成し、自分の言葉で表現する子の育成
- ・パワーアップタイム等による「書く力」の育成

〔我が校の学ぶ力向上策の実践〕

○豊かな心と良好な人間関係づくり

- ・児童によるいじめ啓発活動
- ・言葉遣いや言語環境の整備
- ・ソーシャルスキルとコミュニケーション能力の育成
- ・教育活動全体を通じて、道徳科の充実と藤樹先生の教えに学び実践する心の教育の推進

○たくましい心と体づくり

- ・業間運動、鉄棒や縄跳び、マラソン等の体力づくりの推進と自己の体力の課題改善に向けた取組
- ・食育の推進や早寝早起き等生活リズムの構築
- ・感染症予防と安全対策の徹底

○小中一貫教育の推進

- ・豊かな学びにつなぐ授業研究の充実
- ・一部教科担任制による指導の充実
- ・安心して意欲的に学べる学習環境づくり

○家庭、地域等との連携

- ・学校便りやホームページ等による保護者、地域への情報発信
- ・学校運営協議会を基軸に地域学校協働活動の推進、学校関り人口の増加、つながり響き合う教育の実践
- ・学校地域連携カリキュラムの作成

〈本年度の到達目標:数値目標〉

《確かな学力の向上》

- ・授業が楽しい、わかる
児童評価 90%以上
- ・相手の話をしっかり聞ける
児童評価 90%以上
- ・自らの課題に主体的に取り組む家庭学習と自主学習の習慣化
- ・パワーアップタイムで「書く力」が身についたと実感する児童評価 90%以上
- ・朝読書、図書貸出訪問、委員会活動による読書活動の活性化
- ・効果の上がる校内研究、校内研修とOJTの推進(ICT・プログラミング等)
- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 《豊かな心と良好な人間関係づくり》
- ・学校に来るのが楽しい
児童評価 90%以上

- ・学校、学級は心地がよい
児童評価 85%以上
- ・自分も他者も大切にする児童の育成
- ・いじめをしない、許さない児童の育成
- ・ソーシャルスキルトレーニングの実施
- ・自尊感情を育む、教職員の働きかけ
- ・先生は自分の良いところを認めてくれる
児童評価 90%以上
- ・個別の教育支援計画、合理的配慮に基づく、きめ細かな指導と支援の実践
- ・藤樹先生の教えに学び、よりよく生きる道徳教育の推進
- ・縦割り活動、ペア活動による良好な人間関係の育成

《たくましい体と健康づくり》

- ・高学年での体力の向上
- ・生活アンケート等による家庭への啓発と規則正しい生活習慣の確立
- 《小中一貫教育の推進》
- ・小中合同学習は、中学校進学への不安解消に役立った
児童評価 95%以上

- ・部会の再編による、教師のつながり感の高揚

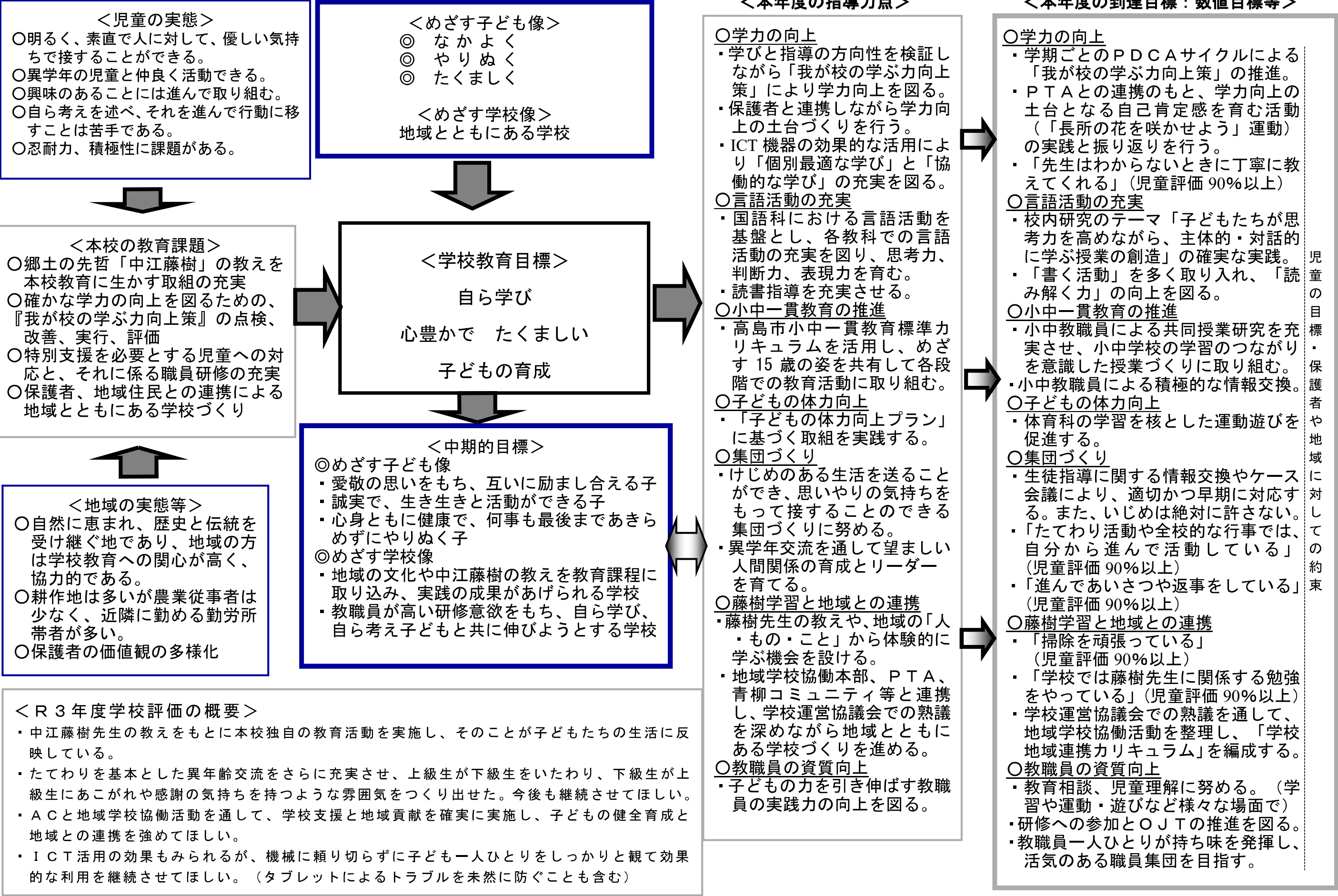
《家庭、地域等との連携》

- ・新たな学校支援ボランティアの発掘と組織化
- ・地域学校協働活動の一つとして広瀬学区でのマラソン大会の実施
- ・学校関り人口の増加のための取組
- ・学校地域連携カリキュラムの作成と共有

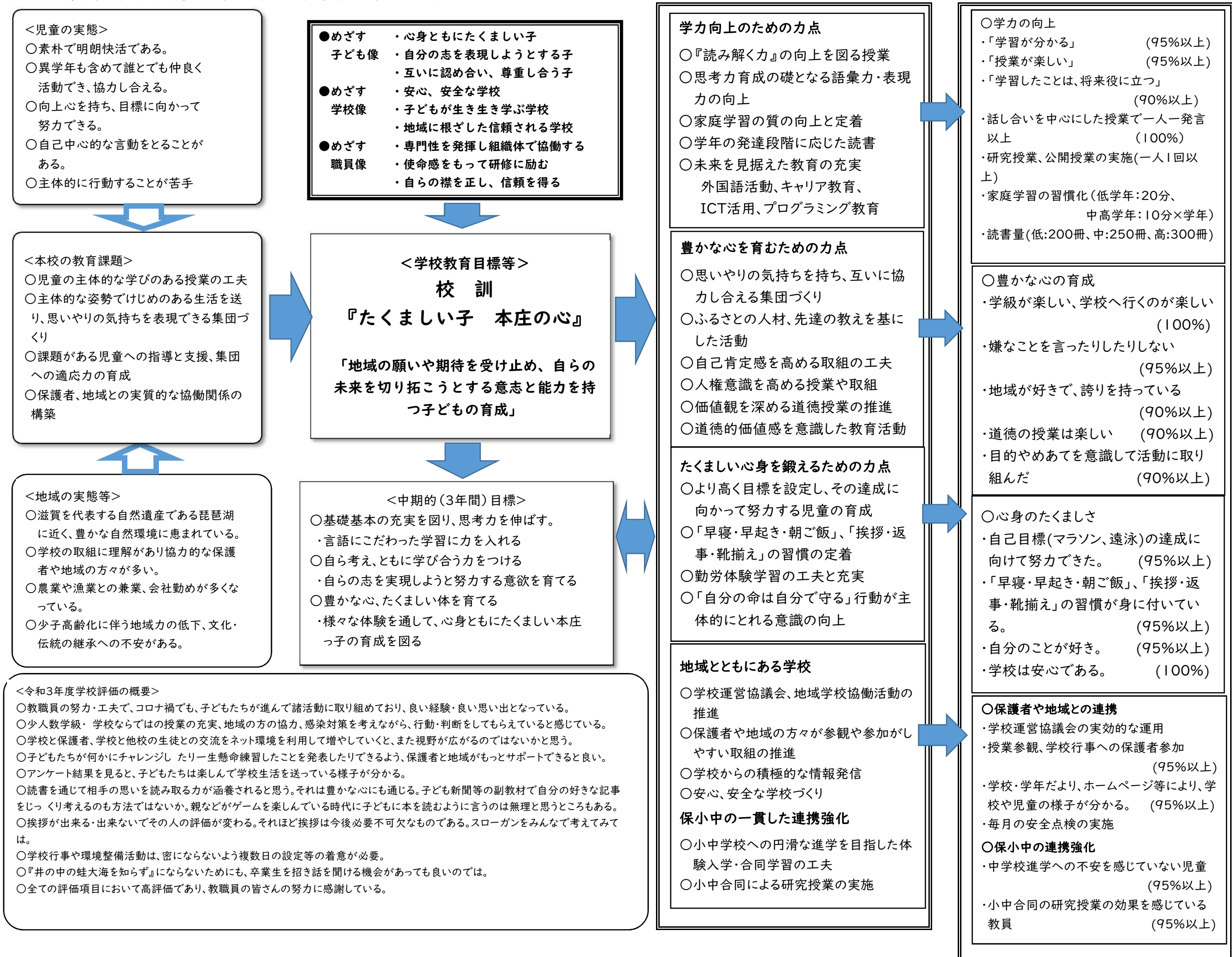
【令和3年度学校評価の概要】

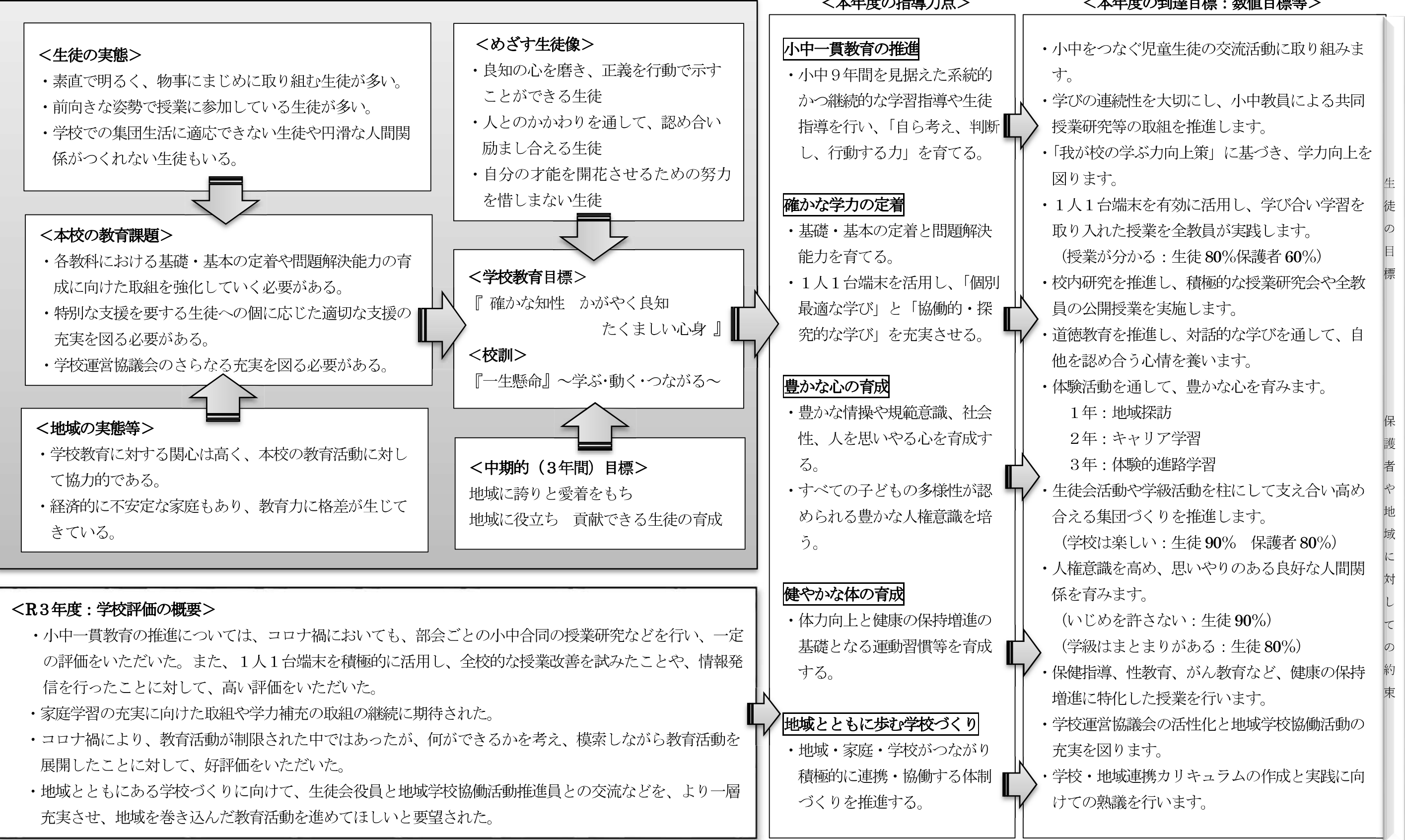
- ・(児童) 授業が楽しい、わかる 78%、学校が楽しい 77%、学校は居心地がよい 75%
- ・(教師) ipad やプログラミング教育についての研修、総合学習の見直し、校内研究の推進
- ・(保護者) 学校に楽しく通っている 90%、学校の学習を理解している 86%、お便りや連絡文書等で、学校の様子をだいたい把握している 90%
- ・(地域) 地域との連携が進んでいる。
地域学校協働活動により多くのサポーターの協力を得た。

令和4年度 学校教育到達目標 高島市立青柳小学校



令和4年度 学校教育到達目標 高島市立本庄小学校





令和4年度 学校教育到達目標

高島市立高島小学校

< 児童の実態 >

- ・児童は明るく、真面目で何事にも一生懸命取り組み、校内では活発に遊ぶ姿も見られる。
- ・放課後は学童や習い事で過ごす児童が多く、地域では群れて遊ぶことはほとんどない。
- ・人間関係がこじれたり、偏った見方がされたりすると、その関係は固定化されてしまうことがある。
- ・自分の思いを上手に相手に伝えられなかったり、自分本位な判断をしたりして、望ましい人間関係を築けないといった、個々の課題のある児童もいる。

△めざす
子ども像▽

- たくましく元気な子
- かしこい判断ができる子
- しっかり聴いて、よく考える子
- まわりを思いやる子

△めざす
学校像▽

- 学びを大切にする学校
- 心を磨き高め合う学校
- つながりを大切にする学校
- 地域とともにある学校

<本校の教育課題>

縦をつなぐ小中一貫教育を通して、自ら学び、正しく判断し、実践できる力と豊かな心を育み、横をつなぐ地域とともにある学校づくりにより、保護者や地域に信頼される学校を創造する。

<地域の実態等>

- 山村部と市街商業地域が併存している。新興住宅はあるが、いずれの地域においても人口は減少傾向にある。
- 核家族や両親共働きの家庭が多くなり、かつての三世帯同居世帯は少なくなっている。
- 保護者・地域住民は、学校教育への関心は高く協力的であるが、互いの関係性は希薄化している。

<学校教育目標>

確かな学力と豊かな心を身につけ、たくましく未来を拓く子どもの育成

< 中期的【3年間】目標(1年目) >

- 「学ぶ力の向上」をめざし、個別最適な学びと協働的・探究的な学びを実現する授業改善を進める。
- 義務教育9年間の学びの土台となる基礎基本の習得を徹底し、主体的な学び方を身につける。
- 児童理解を深め、自主的体験的な活動を重視し、人間的ふれあいを基調にした教育活動を進める。
- 多くの人との関りを通して、自分の個性や可能性を信じ、よりよく生きようとする「志の教育」を進める。
- 家庭・地域との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。

【本年度の指導力点】

【確かな学力のための力点】

- 子どもを真ん中においた個別最適な学びと、協働的な学びになる授業改善

- 読書活動の活性化

- 特別支援教育の充実

- 自主学習の習慣を確立

【豊かな心の育成のための力点】

- 自分事として生き方を見つめる道徳教育の推進

- 心を耕し、豊かな感性を磨く教育活動の展開

- 主体性を引き出す児童活動の推進

【豊かな人間関係を結ぶ力を育成するための力点】

- 相手の立場を尊重し、人権意識の高い、いじめを許さない集団づくり

- 礼儀正しい節度ある生活態度(あいさつ、時間を守る、掃除)の育成

【健康な心と体の育成のための力点】

- 児童理解を土台にして、自己指導力の向上をめざす生徒指導の推進

- 命を大切に、健康で安全な生活実現を目指し、行動できる資質能力の育成

- 基本的生活習慣の確立と食に関する指導の充実

【小中一貫教育推進のための力点】

- 小中合同授業研究会の充実
- 小中教員の交流指導による連続した指導の充実

【地域とともにある学校づくりのための力点】

- 学校運営協議会と地域学校協働活動の連携
- 協働して地域全体で子どもの成長を支える風土の醸成

【到達目標・数値目標】

- ・中学校と一体となって授業研究やOJTに取り組み、思いを深め、達成感のある学びを実現する指導力の向上に取り組む【月1回のOJTの実施100%(教師)】
- ・朝読書の充実や、読書環境の整備を進め、読書に親しむ児童を増やす。【読書冊数目標到達70%(児)/50%(保)】
- ・個別の指導支援のための指導力向上に取り組む【研修会の実施】
- ・ゆめノートを活用した家庭学習の充実に取り組む。【家庭学習の時間を達成した児童が85%以上】

- ・他の教育活動と連携した道徳カリキュラム(別様)を着実に進め、日常に立ち返る道徳教育を進める。

- ・文化芸術に直に触れ、豊かな情操を養う。

- ・中学校と連携した特別活動の活性化を図り、児童の主体的を引き出す活動に取り組むとともに、望ましいリーダーの育成を図る。

【学校生活の楽しさ：80%(児)/75%(保)】

- ・コロナ感染予防をふまえた上で、児童集会や行事等を通じて、友達や多様な人々との交流の機会を増やす。

【学校生活の楽しさ：80%(児)/75%(保)】

- ・人権意識を高める指導に加えて、中学校と協働した児童生徒の主体的な活動を通して、いじめ未然防止に取り組む。【いじめがなく学校生活が楽しい95%(児)】

- ・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。

【あいさつ、時間、そうじ85%以上(児童)】

- ・生徒指導の3機能意識した教育活動を展開し、一人ひとりの児童に居場所がある学級づくりを進める。

【学校生活の楽しさ：80%(児)/75%(保)】(再掲)

- ・児童理解のための教育相談の機能を充実する。

【困っていることを先生に相談できる85%(児)】

- ・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。

【あいさつ、時間、そうじ85%以上(児童)】(再掲)

- ・残食0日数の増加に取り組む

- ・中学校と一体となって授業研究やOJTに取り組み、思いを深め、達成感のある学びを実現する指導力の向上に取り組む(再掲)

- ・小中教員の交流授業を進め、小学校の教科担任制と中学校での複数指導の拡充を図る。

- ・学校運営協議会と協働し、地域学校協働活動を教育課程に位置け、開かれた教育課程の実現に取り組む
- ・PTAと協働し、家書の推進に取り組む。(再掲)

<令和3年学校評価 概要>

- 確かな学力の定着[B]
読書活動の取組が十分でなかった:C62%(児)/28%(保)、授業がわかる:B95%(児)/77%(保)、
- 豊かな心の育成[B]
道徳の授業が生活のためになる:B92%(児)
児童の主体的な活動により、全校の課題解決に取り組ませた。
- 望ましい人間関係を土台にした生徒指導[A]
全校で集う機会は少なかったが、内容を工夫して集会を実施した。学校が楽しい:A91%(児)/85%(保)
コロナ禍の指導を通じて、児童のプライバシー保護の意識を高めた。学級の友達を大切にしたい:A98%(児)
- 健康な心と体の育成[B]
基本的生活習慣の定着、手洗いうがいの励行による病気の予防:A95%(児)
- 小中一貫教育の推進[A]
教職員の交流が十分でなかった。C53%(教員)

〈生徒の実態〉

- ・明るく人なつっこい。
- ・落ち着いた学校生活を送っている。
- ・役割をしっかりと果たす。
- ・やや自主性に欠ける。
- ・コミュニケーション力等の人間関係構築力が十分でない。

〈めざす子ども像〉

- た くましく元気な子
- か しこい判断ができる子
- し っかり聴いて、よく考える子
- ま わりを思いやる子

〈めざす学校像〉

- ◎学びを大切にする学校 ◎心を磨き高め合う学校
- ◎つながりを大切にする学校 ◎地域とともにある学校

〈本校の教育課題〉

- ◎学力向上、授業改善
- ◎道德教育の推進
- ◎いじめを許さない集団づくり
- ◎組織的な生徒指導の推進
- ◎主体的で自律的な生徒会活動の推進
- ◎地域学校協働活動の推進
- ◎小中一貫教育のさらなる充実

〈学校教育目標〉

確かな学力と
豊かな心を身につけ、
たくましく未来を拓く
子どもの育成

〈地域の実態等〉

- 農山村部に位置し、新興住宅はあるが、人口は減少傾向にある。
- 核家族や両親共働きの家庭も多く、祖父母の関わりが少なくなっていることもあり、家庭の教育力が低下している場合もある。
- 保護者・地域の方の学校教育への関心は高く、協力的である。

〈中期的目標〉

- 「主体的、対話的で深い学び」を実現するカリキュラムマネジメントに基づく授業改善
- 学習規律および基礎基本の習得の徹底
- 道德教育を基軸とした個性や可能性を最大限に伸ばす指導の充実
- 確かな生徒理解と組織的な生徒指導の充実
- 生徒の主体的で自律的な活動の充実
- 家庭・地域とともにある学校づくりの推進

〈R3 学校評価 概要〉

- 学力（B）…学校生活の充実（A）授業がわかる（A）学習意欲（B）家庭学習（C）
- 豊かな心（A）…清掃活動（A）あいさつ（A）教員の熱意（A）学校生活の充実（A）道德教育（A）
- 健やかな身体（A）…行事・部活動（A）学校生活の充実（A）
- 地域とともにある学校（A）…情報の公開・発信（A）地域貢献活動（A）
- 小中一貫教育（B）…「子どもおよび学習のつながり」（B）児童生徒理解に基づいた生徒指導（A）
- 学校関係者評価（B）

学力向上のための力点

- ・生徒指導の機能が働く授業
- ・「読み解く力」の視点を踏まえた授業
- ・タブレット型端末を活用して、一人で考える機会や交流する機会を保障する系統的、継続的な授業の展開
- ・家庭学習の方法や課題についての工夫
- ・個に応じた指導助言や補習
- ・学び合い学習を取り入れた授業展開

豊かな心の育成のための力点

- ・社会性が身につく指導の強化
- ・道德教育と人権教育の推進
- ・生徒の主体性を大切にした自律的な生徒会活動や交流活動の推進
- ・生徒指導と特別支援教育が融合した児童生徒理解に基づく適切な予防的指導支援の推進
- ・「始まり」を大切にした落ち着きある学校生活

健やかな身体の育成のための力点

- ・基本的生活習慣が定着する指導の徹底
- ・部活数を削減し、再編することによる部活動の充実

地域とともにある学校

地域住民の招へいと生徒による持続可能な地域貢献活動の実現

小中一貫教育の推進

- ・異年齢交流活動の在り方や内容の再検討とその実施
- ・生徒指導と特別支援教育が融合した児童生徒理解に基づく適切な予防的指導支援の推進
- ・学び合いの学習スタイルをつなぐ。

- 学校生活が楽しく充実していると感じる生徒
- 授業がわかりやすいと感じる生徒
- 意欲的に学習に取り組める生徒

【いずれもA・B評価で80%以上】

- 家庭学習に意欲的(7年生70分、8年生80分、9年生90分)に取り組める生徒

【A・B評価で60%以上】

- 自分の考えや思いを伝えたり聞いたりすることができたと感じる生徒80%

- 清掃活動に協力して取り組める生徒
- 家庭、学校、地域であいさつができる生徒

- 時間が守れる生徒

【いずれもA・B評価で80%以上】

- 学校生活が楽しく充実していると感じる生徒【A・B評価で80%以上(再掲)】

- 教員が親身になって質問や相談に応じてくれると感じている生徒

【A・B評価で80%以上】

- 落ち着いて朝読書に取り組むことができた回答する生徒【A・B評価で95%以上】

- 清掃活動に協力して取り組める生徒
- あいさつができる生徒

- 時間が守れる生徒

【いずれもA・B評価で80%以上(再掲)】

- 行事や部活動に満足している生徒

- 学校生活が楽しく充実していると感じる生徒

【いずれもA・B評価で80%以上(再掲)】

学校運営協議会

学校運営協議会での熟議に基づく、地域からの学校支援と学校からの地域貢献を実現する地域学校協働活動を推進する。

- 地域住民と何らかの交流をする生徒

【A・B評価で80%以上】

小中一貫教育

- 学び合いの学習をつなぎ、伝え合う力を育成する小中一貫教育

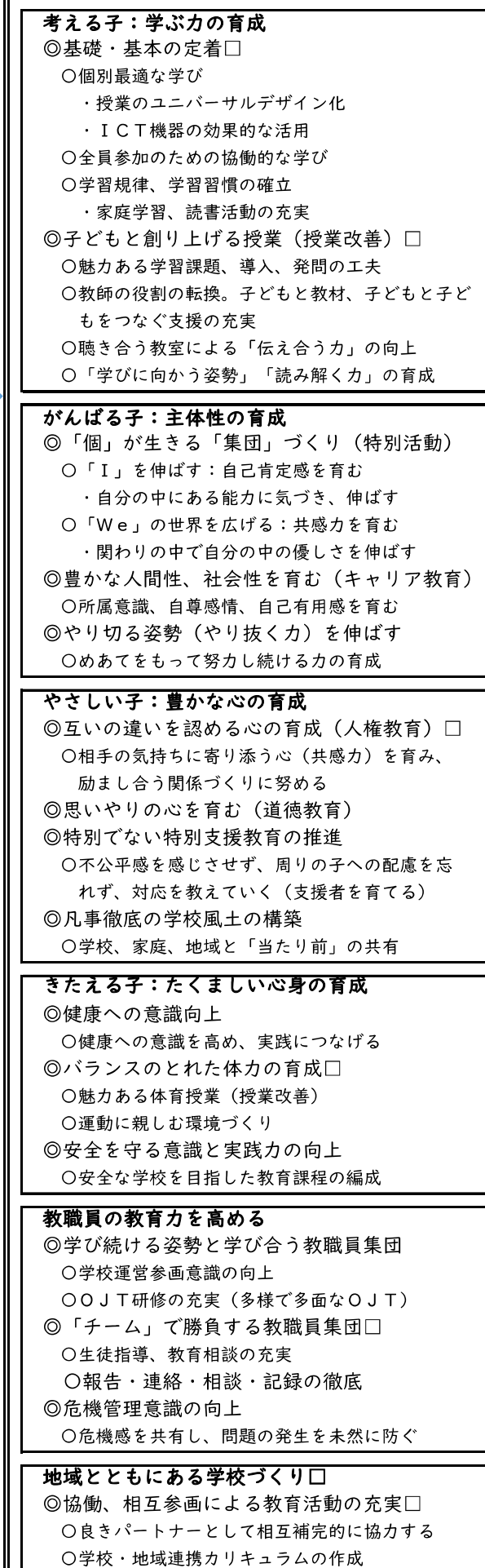
令和4年度 学校教育到達目標 高島市立新旭南小学校



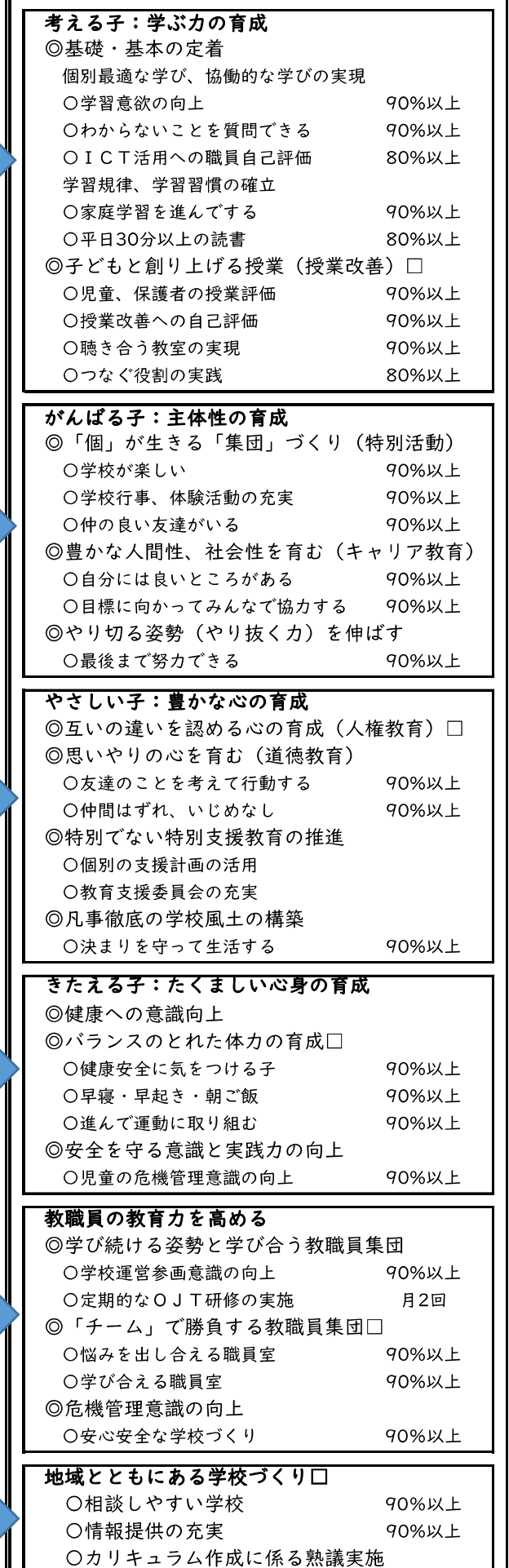
令和3年度 学校評価の概要

考える子：学ぶ力の育成	B	授業改善（B）	基礎基本の定着（B）	学習規律・学習習慣の確立（C）
がんばる子：主体性の育成	B	個が生きる集団づくり（A）	豊かな人間性・社会性を育む（B）	
やさしい子：豊かな心の育成	B	心を育てる人権教育・道徳教育（A）	特別支援教育の推進（B）	凡事徹底の学校風土（B）
きたえる子：たくましい心身の育成	B	健康への意識向上（B）	体力・運動力の向上（A）	安全・安心な学校づくり（B）
教職員の教育力を高める	A	学び続ける姿勢と学び合う教職員集団（A）	チームで勝負する教職員集団（A）	
地域とともにある学校づくり	A	学校運営協議会と地域学校協働活動の充実（A）	協力体制の構築（A）	

【本年度の指導力点】



【到達目標・数値目標】



〈児童の実態〉

- ・素直でやさしい。
- ・学習や活動に真摯に取り組む。
- ・異年齢の結びつきが強い。
- ・気力や自主性がやや乏しい。
- ・学力や体力に二極化の傾向がある。

〈めざす子ども像〉	〈めざす学校像〉
相手の立場に立って行動する子	互いに笑顔で向き合える学校
いじめをしない、許さない子	個々の良さを認め、自覚できる学校
集団で考え、課題解決に向け行動する子	心が通い合い、思いやりのある学校
集中してねばり強く取り組む子	地域住民が足を運びやすい学校
進んで体を動かそうとする子	「チャレンジする意欲」「できる喜び」「高まる自分」が体感できる学校
規則正しい生活リズムで過ごす子	

〈めざす教師像〉

- 笑顔を絶やさず、元気を出して支持的な学級集団をつくる教師
- 地域住民の願いを共有し、ともに活動する教師
- 人権感覚を高め、子どもの目線を忘れず見守る教師
- 専門性を生かし子どもの学ぶ意欲を刺激する教師
- 学び合い、高め合い、支え合う雰囲気の教師集団

〈本校の教育課題〉

- ・「適切な言葉遣い」(児)85%(教)59%。子どもたちはができていない。「自分からあいさつ」(児)81%(保)60%、言葉の使い分け、登下校時の挨拶に課題。
- ・「ふだんから読書」(児)57%(保)40%「読書指導に工夫」(教)42%。全般的に低迷。
- ・「総合的な学習:地域の実情を生かし、探求的な活動を展開」(教)64%、自主的に課題を作る場を設ける意識の向上が必要。
- ・「早寝早起き朝ご飯リズム」(児)84%(保)82%(教)63%…家庭と学校の意識。「就寝時刻が遅い」32%朝のスタートが気持ちよく始められない児童もある。

〈学校教育目標〉

自ら考え 変化に挑む子の育成

“新たな課題に向かい、
アイデアを出し合い、高め合い、
支え合う子ども”

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然、文化に恵まれ、古くからの風習が息づいている。
- ・人々は温厚であり、教育に対する関心が高く、協力的である。
- ・地域によって児童数の増減に偏りがある。

〈中期的目標〉

- ・豊かな人間性、自主性、社会性の育成と学力向上
(生活習慣・学習習慣の確立)
- ・教員の専門性の向上
(ファシリテーション力・探究的授業へ対応)
- ・地域住民とともに意識改革
(地域住民との協働、地域とともにある学校)

〈令和3年度学校評価 概要〉

○感染症対策を優先することにより、「つながり響き合う教育」の推進が困難な状況であるが、前を向いて「地域にある学校」を推進し、教育活動を展開していく。「チャレンジ」を具現化しようとする学校の姿が明確で、積極性がある。子どもたちにつけたい力・どう育ってほしいのか大切に、地域住民と共有しながら、それに向かって歩むことを常に意識していく。

○大人の労をねぎらう、感謝の言葉を口にする子がいることがすばらしい。新しく始める取組(協働活動)に期待を込めながら、地域と学校が結びつきを強める取組は本校にとどまらず、保幼小中一貫教育推進と絡めて新旭全体で取り組む視点を持って進める。

○感染症対策のなか児童を思いを優先させて取り組む姿勢は今後も継続する。時間短縮を意識しすぎて見切り発車の活動にならぬよう、余裕を持たせた活動も大切な視点として実践する。

つながり響き合う教育の推進

- ☆ タテのつながり
湖西中学校区での保幼小中高一貫教育の推進
『学び合い』に視点を当てた授業・保育交流の推進
こども園・中学校との交流活動の充実
- ☆ ヨコのつながり
地域学校協働活動の活性化
地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成
地域住民の学校運営への参画
- ☆ 未来とのつながり
将来を見据えた教育活動の展開
キャリアパスポートの活用により自分の未来を描く
社会や団体への貢献を感じる活動の展開

やさしい子 かしい子 強くたくましい子の育成

- ☆ やさしい子
思いやりのある、差別やいじめのない学校づくり
基本的な生活習慣・行動様式の定着
- ☆ かしい子
学習規律を整え、秩序を大切に授業づくり
ペアやグループで主体的に学び合う言語活動の充実
「読み解く力」を重点においた授業づくり
ICTを活用した学び方改革
- ☆ 強くたくましい子
遊びを通した仲間づくりと体力づくり
運動能力向上の全校的な取組の推進
「早寝早起き朝ご飯と正しい生活リズム」の推進

つながり響き合う教育の推進

- ☆ タテのつながり
「小中一貫教育を有意義に感じ、積極的に取り組んでいる。」および「つながりを意識して自己の授業づくりに取り組んだ」(職員評価)92%→100%
- ☆ ヨコのつながり
学校運営協議会・希望の会の活動を理解している。(職員評価)78%→100%
地域住民とともに取り組む協働活動に意義を感じる。(職員評価)新項目→100%
地域住民が集える場としての学校を推進し、住民と児童・教員の交流を深める。
- ☆ 未来とのつながり
キャリア教育の視点を生かす学習・郷土の良さを学ぶ学習(藤本太郎兵衛、針江かばた、熊野本古墳群、清水城)に積極的に取り組む。
たてわり活動は有意義である(児童評価)80%→90%
係・委員会活動を工夫(児童評価)82%→90%

やさしい子 かしい子 強くたくましい子の育成

- ☆ やさしい子
たてわり活動・あいさつ運動・読書活動を推進する。読書に取り組む。(保護者評価)40%→60%
「時と場に応じた言葉遣いができている」(職員評価)59%→70%
「いじめ・仲間はずれにしない」(児童評価)92%→100%
- ☆ かしい子
「学習規律が定着、学習にメリハリがある」(職員評価)67%→80%「授業改善に取り組む」(職員評価)82%→100%
全学級でガッテンプリントを活用する。
タブレット端末を活用した学習をさらに充実させる。
- ☆ 強くたくましい子
なわとび マラソン等強化月間を継続する。
「早寝早起き朝ご飯ができていない」(保護者評価)82%→100%
「就寝時刻がおそい」(保護者評価)32%→10%

令和4年度学校教育到達目標 高島市立湖西中学校

